

# GC CIRCLE

Journal of GC Membership Society May.2007 【ジーシー・サークル】

No.121



臨床座談・楽しく語るラクリニカル&マテリアル

## 合着・接着を再考する

—セルフアドヒーシブルレーティングセメント「ジーセム」—





## 「美味しく食べる」「笑顔」にこだわる 未来志向の歯科医院

関東平野北端に近く群馬県で一番南に位置する藤岡市。上越や軽井沢に向かうときには通過点にすぎない静かな地方都市である。そんな地味な町に、インパクトのある歯科医院が誕生した。未来志向で患者さんの満足度を満たしてくれる「中央歯科」。これからの歯科医院の方向を示すエネルギーがここにある。



群馬県藤岡市  
中央歯科

院長 布施 英明 先生



3台のユニットGコンパクトが設置された診療室。大きな窓からは中庭を望むことができる快適な空間。別室にはインプラント治療をメインとした個室タイプの特別診療室も備わっている。

### 新潟と長野の分岐点になる藤岡市

東京から高速道路で約1時間。新潟方面に向かう関越自動車道と長野方面に向かう上信越自動車道がクロスする位置にあるのが藤岡市。北は高崎市、南は埼玉県に接する群馬県南西部の地方都市である。地域の歴史は古く各所に古墳が散在する。市の南にある塚原には埴輪を焼いた窯跡も現存する。また、地名は市街地近くの丘陵地に「藤の花」がよく繁殖していたので藤岡になったと伝えられる。現在でも「ふじの咲く丘」として名所にもなっている丘陵地は、4月下旬から5月中旬にはまばゆいばかりに藤の花が咲き乱れる。

そんな藤岡市の中心から少し北に位置した住宅街に「中央歯科」が2006年2月に誕生した。余裕の駐車場、車寄せも十分な正面入口。そして、吹き抜けで天井の高い円柱形の玄関ホールは歯科医院のランドマークにもなっている。

院長の布施英明先生は、ある体験がきっかけで歯科医師を目指されたという。

### 放浪生活の果てに歯科医師に

「最初は理系の大学に通っていましたが、社会人になるための執行猶予みたいな感じで性に合わなかった。それで、大学を中退して世界中を放浪しました。多くの国でいろいろな人々と出会い、いろいろな体験もしました。そこで一番感じたのが食べることの大切さ。どんなに人種が変わっても、美味しく食べたいという欲求は変わらない、ということです。そんな生活の中から歯の大切さ、歯は生きていくために欠かせないもの、ということを実感したのです」。世界の人々と触れ合ったことが歯科医師になるきっかけとなった。

それだけに、布施先生の診療コンセプトは「いつまでも美味しく食べられること。また、そのような状態にしてあげること。そして笑顔がきれいなこと」である。放浪時代に父親には勘当されたが、母親の笑顔には何度救われたか数えきれないという。笑顔も歯があってこそ素敵になる。

「医科と歯科を考えたときに、医科はマイナスに

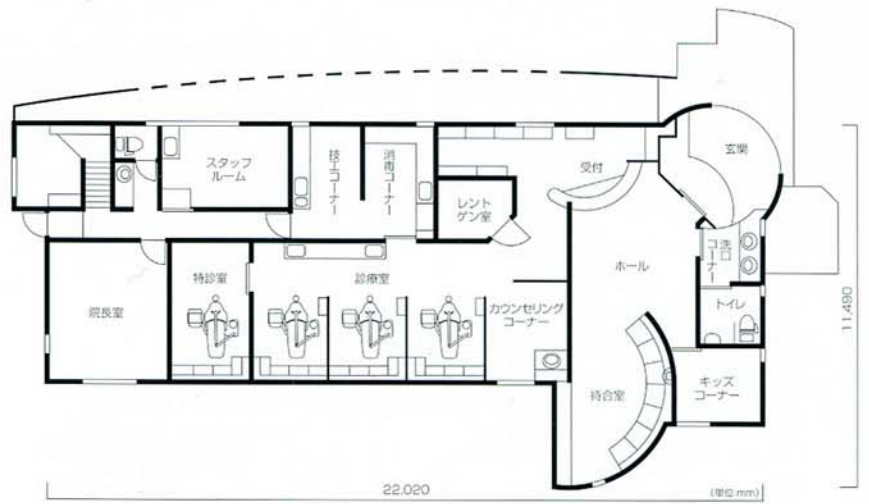
群馬藤岡駅







特別診療室



設計のポイント

- 車での来院を考慮して駐車場を広く、入口にインパクトを持たせた設計にした。院内はバリアフリーで車椅子も余裕のスペース。
- 受付、待合室にはアーチ形状を用い、モダンでやさしい空間を表現。キッズコーナーを別室に併設した。
- 窓を大きくとった明るい診療室の前面に枯山水のモダンな庭園を造り、患者さんの緊張を和らげるように設計。

なった状態を0にしかできない。でも、歯科はマイナスをプラスに変えられると思いました。噛めなかったものが噛めるようになる、笑顔がどんどんきれいになったらプラスです。だから、これは魅力的な仕事だなと思いましたね。子供のころから物を作ることが大好き。手先が器用だったことも歯科の道に向かわせた要因かもしれない。

未来だけを見て歯科医院を造った

「中央歯科」は近年の開業医院としては贅沢な造りである。リラックスできる広い待合室、診療空間もゆとりのスペースを確保されていて落ち着ける。そして、待合室、診療室からは枯山水のモダンな中庭が望め、患者さんの緊張をほぐしてくれる。

「開業を意識し始めたころは、景気低迷の時代だったから初期投資は徹底的に抑えるというのが一般的でした。でも、私はそうじゃないと思っていました。経営を成り立たせるためにも、患者さんがすべての面で満足できるようにしなければいけない。また、それだけのリスクと背中合わせで行うことで、責任の持てる仕事ができるとも考えていました。だから、徹底的に患者さんにとって自分が理想とする形にこだわりました」。患者さんにとって最適な治療と環境という未来だけを見て医院を造ったという。

そんな布施先生の考え方は「リライトカード診察券」にも表れる。

「診察券に過去の診療履歴が残るのは、その都度、過去ばかり振り返るようで抵抗があった。あと何度通えばいいのかと後ろ向きになり減入ってしまいます。だから、次の予約しか書かれていないリライトカードにしたのです。未来だけを考えよう」と。

また、診療室に設置されているユニットGコンパクトiも先生の大きなこだわりだ。「英国人のサーフィン仲間と話しているとき、世界中の椅子で座りたくない第1が電気椅子で、2番目が歯医者さんの椅子だと言われました。それが頭に残っていて、絶対にチェアだけは座り心地の良い物にしようと考えました。だから、低反発ウレタンを使用した形状記憶シートのユニットGコンパクトiが出たので即決です。庭を見ながらこのチェアに座ると、多くの患者さんが寝心地良さそうにしているので、とても満足です」。

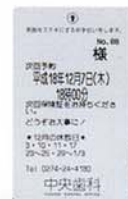
優秀なスタッフが医院を盛り上げる

開業から1年ちょっとなのに患者さんは広域からも集まってくる。一度来院された患者さんの紹介も多く、自費率、リコール率もびっくりするほど高い。

「スタッフはみんなプロです。歯科衛生士はメンテナンスや歯周のことは責任もって行ってくれるし、受付も患者さんと適切なコミュニケーションをとってくれるので、自費率やリコール率が良いのだと思います。優秀なスタッフのおかげで、私も治療に専念できます。これからの歯科医院は、本当にスタッフの力が重要になってくると思います」。

「中央歯科」は、いつまでも食べられ、素敵な笑顔のために予防・インプラント・矯正・審美などいろいろな処置を手掛けられる。幅広いフィールドだが、布施先生にとっては患者さんの要望を実現するための必然でしかない。だから、先生は自らを「臨床の専門家」だと表現する。

多くの患者さんの支持を集め、ますます発展する「中央歯科」。数年後には「予防・インプラントセンター」を造りたいと、未来志向の勢いは止まらない。



リライトカード  
 次回の予約日時が記載される。

